

2014年6月5日

東京大学  
教授 田中 知 様

三陸の海を放射能から守る岩手の会一同

## 原子力規制委員など政府の各種審議会委員を辞退して下さい

前略

私達は、貴殿が原子力規制委員への就任を政府から要請されていることを新聞報道等により知りました。

この要請に関連し、マスコミでは以下のような報道がなされています。貴殿は、最近、「日立GEニュークリア・エナジー」などから計110万円受領したほか、東京電力の関連団体から50万円以上の報酬も得ていた。また、過去5年間に「電源開発」から100万円、「日立製作所」から120万円、「日立GE」から180万円の計400万円の寄付金を受けていた（2012年2月6日付け朝日新聞）。

このことについて、驚いたことに、貴殿は「研究のため受けている。寄付で新大綱策定会議などでの発言が影響されてはいけないという意識がかえって高まる」とコメントをされたと報道されていました。

このように業界から寄付金を受けていたことが事実ならば、国民のため公平公正な審議会委員として務めることは道義的にも無理であり、当然、国の原子力規制委員を辞退されるものと貴殿の動向を見守ってまいりました。ところが一向に辞退される様子がないことに驚きを禁じえません。最高学府において人を教える立場の方が、原子力業界から寄付を受けながら、国民の安全を預かる最も大切な原子力の規制委員に就任することに道義的責任を感じないのでしょうか。「寄付で策定会議などでの発言が影響されてはいけないという意識が高まる」という奇妙な理屈は成り立ちません。規制委員等政府の審議会委員として「強力な発言権がある立場」に業界は寄付をしているのではないのでしょうか。

福島第1原発事故が起こり3年経過した今、12万人以上もの福島の方たちが避難を余儀なくされておられることについてどうお考えですか。政府の審議会委員として原子力政策を推進してきた貴殿の責任をどうお考えですか。原発事故により放出された放射性物質によりこの美しい国は広く汚染されてしまいました。汚染された地でみな苦しんでいます。

これが貴殿たちの進めてきた「原子力利用」の結果だったのです。エネルギーよりも人の命や健康が大切なことは論をまたないはずで、貴殿はこの逆の発想をされておられるのではないのでしょうか。

どうか貴殿におかれましては、原発を推進してきた責任を真摯に反省され、かつ福島県の被災者へ思いを致し、また貴殿が人々のため学問を志した原点に立ち返り、良心に照らし国の原子力規制委員辞退の決断をなさるよう要請いたします。

早々

連絡先

〒020-0004 岩手県盛岡市山岸 6-36-8  
三陸の海を放射能から守る岩手の会  
世話人 永田文夫  
Tel/fax:019-661-1002  
E-mail:hgf01360@nifty.com